

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公表番号】特表2007-510962(P2007-510962A)

【公表日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-016

【出願番号】特願2006-539708(P2006-539708)

【国際特許分類】

G 0 3 C 1/00 (2006.01)

G 0 3 C 1/46 (2006.01)

G 0 3 C 5/02 (2006.01)

G 0 3 C 1/035 (2006.01)

G 0 3 C 1/047 (2006.01)

G 0 3 C 1/83 (2006.01)

G 0 3 C 5/17 (2006.01)

【F I】

G 0 3 C 1/00 A

G 0 3 C 1/46

G 0 3 C 5/02

G 0 3 C 1/035 H

G 0 3 C 1/035 B

G 0 3 C 1/035 A

G 0 3 C 1/035 L

G 0 3 C 1/047

G 0 3 C 1/83

G 0 3 C 5/17

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月4日(2007.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

800以上のシステム・スピードを有し、そして、

A) 700以上のフィルム・スピードを有し、そして、第1及び第2の主面を有する支持体を含む対称的なラジオグラフィ・ハロゲン化銀フィルム、ここで

前記ラジオグラフィ・ハロゲン化銀フィルムは、前記支持体第1主面上に配置された、第1及び第2のハロゲン化銀乳剤層を含む2つ又は3つ以上の親水性コロイド層を有し、そして、前記支持体第2主面上に配置された、第3及び第4のハロゲン化銀乳剤層を含む2つ又は3つ以上の親水性コロイド層を有し、

前記第1及び第3のハロゲン化銀乳剤層は、前記支持体のそれぞれの側の最外乳剤層であり、

前記第2及び第4のハロゲン化銀乳剤層は、クロスオーバーを15%未満に低減するのに十分なクロスオーバー制御剤を含み、そして、

B) 前記ラジオグラフィ・ハロゲン化銀フィルムの各側に配置された蛍光増感スクリーン、ここで

該スクリーン対は400以上のスクリーン・スピードを有し、そして前記スクリーン対は図4の基準曲線Aよりも大きい平均スクリーン鮮鋭度測定値を有し、そして各スクリーンは、X線を吸収して、300 nmを上回る波長を有する電磁線を放射することができる無機燐光体を含み、前記燐光体は、支持体上の燐光体層内で高分子バインダーと混和された状態でコーティングされている、  
を含んで成るラジオグラフィ画像形成集成体。

【請求項2】

前記第1、第2、第3及び第4のハロゲン化銀乳剤層内の前記平板状ハロゲン化銀粒子が、90 モル%以上の臭化物及び1 モル%以下のヨウ化物（両方とも該乳剤層内の総銀量を基準とする）、アスペクト比25～45、平均直径3.5  $\mu\text{m}$ 以上、並びに独立して、平均厚0.06～0.16  $\mu\text{m}$ から成っている、請求項1に記載の画像形成集成体。

【請求項3】

前記第1、第2、第3及び第4のハロゲン化銀乳剤層内の前記平板状ハロゲン化銀粒子が、前記高分子ビヒクル混合物の総乾燥重量を基準として、0.05%以上の酸化ゼラチンを含む親水性高分子ビヒクル混合物中に分散されている、請求項1又は2に記載の画像形成集成体。

【請求項4】

前記蛍光増感スクリーン支持体が、連続的なポリエステル第1相と、前記連続的なポリエステル第1相内に分散された第2相とを含む反射基層を含み、前記第2相が、無機粒子を含有するマイクロボイドを含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の画像形成集成体。

【請求項5】

1100以上のシステム・スピードを有し、そして、

A) 800以上のフィルム・スピードを有し、そして、第1及び第2の主面を有する支持体を含む対称的なラジオグラフィ・ハロゲン化銀フィルム、ここで

前記ラジオグラフィ・ハロゲン化銀フィルムは、前記支持体第1主面上に配置された、第1及び第2のハロゲン化銀乳剤層を含む2つ又は3つ以上の親水性コロイド層を有し、そして、前記支持体第2主面上に配置された、第3及び第4のハロゲン化銀乳剤層を含む2つ又は3つ以上の親水性コロイド層を有し、

前記第1及び第3のハロゲン化銀乳剤層は、前記支持体のそれぞれの側の最外乳剤層であり、

前記第1、第2、第3及び第4のハロゲン化銀乳剤層のそれぞれは、同じ組成を有し、独立してアスペクト比38～45、平均直径3.5  $\mu\text{m}$ 以上、及び平均厚0.08～0.14  $\mu\text{m}$ を有し、そして両方とも前記粒子中の総銀量を基準として、95 モル%以上の臭化物及び0.1 モル%以下のヨウ化物を含む（両方とも粒子中の総銀量を基準とする）平板状ハロゲン化銀粒子を含み、

前記第2及び第4のハロゲン化銀乳剤層のそれぞれは、クロスオーバーを12%未満に低減するのに十分であり且つ現像中に45秒以内で脱色される1～1.3  $\text{mg}/\text{m}^2$ の量で存在する粒子状オキソノール色素を、クロスオーバー制御剤として含み、

前記フィルムはさらに、前記支持体の両側に、前記ハロゲン化銀乳剤層の全ての上に被さるように配置された保護オーバーコートを含み、

前記第1、第2、第3及び第4のハロゲン化銀乳剤層内の前記平板状ハロゲン化銀粒子は、親水性高分子ビヒクル混合物の総乾燥重量を基準として、5%～15%の脱イオン酸化ゼラチンを含む前記親水性高分子ビヒクル混合物中に分散されており、

前記第1ハロゲン化銀乳剤層と前記第2ハロゲン化銀乳剤層との乾燥未処理厚の比が、3:1～1:1であり、そして前記第3ハロゲン化銀乳剤層と前記第4ハロゲン化銀乳剤層との乾燥未処理厚の比が、独立して、3:1～1:1であり、そして、

前記第1ハロゲン化銀乳剤層内と前記第2ハロゲン化銀乳剤層内との銀のモル比が、1.5:1～3:1であり、そして、前記第3ハロゲン化銀乳剤層内と前記第4ハロゲン化銀乳剤層内との銀のモル比が、1.5:1～3:1であり、そして、

B) 前記フィルムの両側に配置された蛍光増感スクリーン、ここで

該スクリーン対は600以上のスクリーン・スピードを有し、そして前記スクリーン対は  
所与の空間周波数において図4の基準曲線Aの値の1.1倍以上である平均スクリーン鮮鋭度  
測定(SSM)値を有し、そして各スクリーンは、X線を吸収して300 nmを上回る波長を有する  
電磁線を放射することができるテルビウム活性化型ガドリニウム酸硫化物燐光体を含み、  
前記燐光体は、フレキシブルな高分子支持体上の燐光体層内で高分子バインダーと混和さ  
れた状態でコーティングされている、  
を含んで成るラジオグラフィ画像形成集成体。